

青少年「平和と交流」支援事業（HIROSHIMA and PEACE） 報告会の実施について

参加者名：William Reynolds

派遣元加盟都市（国）：マンチェスター（英国）

行事名	「HIROSHIMA and PEACE」と平和首長会議サマースクール
実施日	2018年11月25日
実施場所	マンチェスター大学（英国）
対象者 (属性・年齢等)	マンチェスター大学（英国）の学生
参加者数	約10名未満
報告会の 概要等	<p>広島への旅、平和首長会議プログラム、「HIROSHIMA and PEACE」について説明しました。講義の内容や広島での生活、参加した行事（追悼式典や被爆者の証言など）について詳しく話しました。</p> <p>ほとんどの学生は私のコースである「平和と紛争研究」の修士課程（2017～2018）から参加していました。専攻は平和理論、平和構築、紛争抑止に関連していますが、彼らの関心は国際関係、政治、国際開発、人権、民主主義と多岐にわたります。</p> <p>彼らはコース全体と、広島での私の体験に関心を持ちました。特に、コースの構成、とりわけ市長や被爆者との懇談などです。また、都市としての広島歴史や原爆ドームにも関心を持っていました。私はまた、平和首長会議と「HIROSHIMA and PEACE」における役割について学生たちに情報提供しました。</p>
その他 参考となるURL 等を記載のこ と。	平和首長会議ホームページと「HIROSHIMA and PEACE」からの資料と情報を使用しました。

※写真は別ファイルで添付してください。

(提出先) 平和首長会議事務局
E-mail: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

